

スコアボード

第48回 横浜少年サッカー大会 (市長杯)
1月7日(土) 10:00~開会式 日産フィールド小机

YFA新春サッカーフェスティバル
1月9日(祝) 9:00~ 横浜スタジアム
各年代 交流戦

2023年 臨時会員総会
3月20日(月) 18:30~ かながわ県民センター

Breeze

YFA News

発行 一般社団法人横浜サッカー協会
編集 同 広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL(045)474-4315 FAX474-4316
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0739 FAX227-0785



U12-1部 優勝 バディーSC



U10-1部 優勝 バディーSC



U8の部 優勝 横浜すみれSC



少女の部 優勝 横浜かもめLUNA



U12-2部 優勝 品濃ウイングス



U10-2部 優勝 FCアムゼル

優勝

U12-1部
バディーSC

U10-1部
バディーSC

U8の部
横浜すみれSC

少女の部
横浜かもめLUNA

U12-2部
品濃ウイングス

U10-2部
FCアムゼル

第54回横浜国際チビ子サッカー大会

U12(Sリーグ) 1部・2部、U10、1部・2部、U8、少女、各カテゴリー。今回は新型コロナウイルス感染症感染者が減少したこともあり感染対策を行いながら、例年通りの方法で第54回国際チビ子サッカー大会が行われた。U10・U8・少女は9月6日~11月27日、ブロックに分けて、上位チームによる決勝トーナメントが横浜市内各グラウンドで行われた。U12リーグは9月11日~10月23日、横浜市内各グラウンドで行われた。このU12は前期・後期リーグに分かれ、前期(春季大会)の成績を基に後期(国チビ大会)のブロック分けが行われている。その結果JFA全日本U12サッカー選手権大会神奈川予選参加48チームの出場枠が決まる。そして、全国大会まで繋がる大会。

大会結果

【U12】

1部 決勝戦
バディー 0-0 JFC F
SC 0-0 UTURO

1延長0
1部 3位決定戦
SCH・2-0 あざみ野
FC

2部 決勝戦
品濃ウイングス 2-0 二俣川SC

2部 3位決定戦
西本郷 2-1 山王谷SC
FC

【少女】

決勝戦
横浜かもめ 2-1 緑ピクシー
LUNA

3位決定戦
金沢 1-0 旭ガールズ
GRLS

【U10】

1部 決勝戦
バディー 3-0 JFC F
SC 3-0 UTURO

1部 3位決定戦
横浜すみれ 3-0 SCH・FC

2部 決勝戦
FC 0-0 横浜すみれ
アムゼル SC

1PKO
2部 3位決定戦
横浜栄 7-1 横浜アミ
FC ザーデFC

【U8】

決勝戦
横浜すみれ 1-0 バディーSC

3位決定戦
あざみ野 2-0 FC本郷
FC

優勝の喜びの声
U12-1部 関屋陽笙
僕らは、この大会の準決勝、決勝とケガで出場することができませんでした。試合に出場できない代わりに水を渡すことや、試合中に声を掛けて仲間をサポートしました。そして、仲間を信じていることと勝利してほしいと心から願いました。準決勝では、試合終盤にPKを与えてしまいました。

バンデリージャ横浜が優勝
神奈川県地域対抗サッカー大会
第17回神奈川県地域対抗サッカー大会で横浜代表のバンデリージャ横浜が優勝した。同大会は、社会人チームによる地域対抗サッカー大会であり、8地域の代表チームが参戦した。

朝鮮大学校が市長杯争奪 第61回日朝親善サッカー大会
第61回横浜市長杯争奪日朝親善サッカー大会は、10月22日、23日の二日間にわたりニッパツ三ツ沢球技場三ツ沢公園陸上競技場、神奈川朝鮮中高級学校グラウンドにおいて開催された。

一日目にニッパツ三ツ沢球技場においてY.S.C.Cセカンド対朝鮮大学校によるメインマッチである横浜市長杯争奪戦が行われた。朝鮮大学校が2対0でY.S.C.Cセカンドを下し横浜市長杯を奪取した。

YFAスーパーキッズ大会
27チーム355名参加
今年度2回目となるキッズ大会、YFAスーパーキッズゲームサッカーフェスティバルGOAL44は、10月8日、しんよこフットボールパークにて行われた。チーム数27チーム、355名が参加、父母の声を援を受けてゴールをめざし、

元気がいっぱいボールを追いかけ、日産スタジアムで

行われた横浜F・マリノスの試合として、キッズのプレーに観客席からも大きな歓声がおきていた。

この「Breeze」を初めて発行したのは26年前、1996年、平成8年のことだ。一番最初に決めたのは「Breeze」という名前。広報委員みんながいろいろな名前を出し合った。サッカー協会の広報誌だからサッカーに関する名前もたくさん候補に挙がっていた。その中で、風を駆け抜ける風という意味で決まった。サッカー関連の言葉になるかと思っていたので少し違和感もなかったけど、長い付き合いの中でいい名前が付いたと思ってる。発刊当初、少年サッカーの「さわやか」と一緒に校正作業をしていた。さわやかは毎月発行で、4面あり、試合結果だけでなく、選手のサッカー家族紹介や現役の新聞記者さんのコラムもあった。家族紹介にはその後リーグで活躍した選手もいる。その「さわやか」も5年前に470号を最後に廃刊になった。今の時代、紙ベースはやっぱりないのだろうか？ ネットの便利さにはかなわないのだけれど、見たいときに見られる紙の広報誌も残しておきたいと思いつながら、このBreezeの今後もどうなるか、気になるところである。

試合結果は次の通り。

〈10月22日〉

Fスタジオ 神奈川朝鮮 U-14 1-3 中級学校

メインマッチ 朝鮮大学 2-0 Y.S.C.Cセカンド

〈10月23日〉

神奈川朝鮮 1-0 神奈川県立高登学校

光陵高等学校 0-3 神奈川大学

神奈川朝鮮 3-1 ワイルドイレブン

奮闘した。

ハーフタイム
この「Breeze」を初めて発行したのは26年前、1996年、平成8年のことだ。一番最初に決めたのは「Breeze」という名前。広報委員みんながいろいろな名前を出し合った。サッカー協会の広報誌だからサッカーに関する名前もたくさん候補に挙がっていた。その中で、風を駆け抜ける風という意味で決まった。サッカー関連の言葉になるかと思っていたので少し違和感もなかったけど、長い付き合いの中でいい名前が付いたと思ってる。発刊当初、少年サッカーの「さわやか」と一緒に校正作業をしていた。さわやかは毎月発行で、4面あり、試合結果だけでなく、選手のサッカー家族紹介や現役の新聞記者さんのコラムもあった。家族紹介にはその後リーグで活躍した選手もいる。その「さわやか」も5年前に470号を最後に廃刊になった。今の時代、紙ベースはやっぱりないのだろうか？ ネットの便利さにはかなわないのだけれど、見たいときに見られる紙の広報誌も残しておきたいと思いつながら、このBreezeの今後もどうなるか、気になるところである。

が頼もしい味方ゴールキーパーのセーブもあり、勝ちきることができました。決勝戦では、延長戦にもつれる厳しい戦いとなりました。延長前半に先制し、その得点を守り切り見事優勝することができました。表彰式では、試合に出ない自分自身に賞状を代表で受け取らせてくれた仲間に感謝しています。今後もチームの雰囲気の良さを大切に、一戦一戦しっかりと勝ち進んでいきます。



(茅ヶ崎市)と勝ち上がり、決勝戦で2対0サロンプラスFC(綾瀬市)を下して優勝した。

バディーSCが優勝 ～タカナシカップ～ 18区代表U11サッカー大会



タカナシカップ2022が10月30日予選リーグ、11月3日順位決定トーナメントがしんよこフットボールパークにて行われた。
横浜18区代表による少年少女サッカーのレベルアップを図り、8人制サッカーを通して技術の向上をめざし、神奈川県U11サッカーへの横浜代表チームを選出する大会。横浜18区の前年優勝、準優勝2チームを加えて4チーム5ブロックによる予選リーグ

創立90周年を祝う 各委員会で大会等実施

横浜サッカー協会は、2022年に創立90周年を迎え、委員会ごとに記念事業が行われている。

【事業委員会】

「90周年事業参加賞」
「マリノス観戦福祉シート」

【別掲】

「横浜F・マリノスサッカー教室」 10月10日 しんよこフットボールパーク 参加人数・1000名
「講演会（障害者スポーツについて）」 1月21日 日産スタジアム301号室 参加人数・70名

【第四種委員会】

「ターバー・コーチングサッカー教室」 8月1日 しんよこフットボールパーク 参加人数・1000名

「三ツ沢ガールズカップ」 11月27日 三ツ沢公園 参加人数・2000名

「女子委員会」

「ガールズフットサル大会」 11月3日 横浜国際プール 参加人数・5000名
「ママさんフットサル大会」 12月17日 参加人数・1200名

90周年を記念 フットサルで実施 すずらん少女大会

YFA 90周年記念事業の一環として今回は、初めてフットサル形式の大会が、11月3日、横浜国際プールにて行われた。U10カテゴリーをすずらん少女サッカー大会として開催した。

同大会は、4チームを2ブロックに分けて予選リーグを行い、各ブロック1位による決勝戦、2位による3位決定戦を行う順位決定戦の結果、優勝は、SHガールズ、準優勝が駒林SCとLUNAの2チーム。第3位が横浜ウィンズ。第4位が緑ビクス。

【大会結果】

決勝戦 SH 5-2 LUNA
ガールズ

親子40人が観戦 福祉チケット贈呈

創立90周年を迎えた一般社団法人横浜サッカー協会は、記念事業の一環として、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を通じて横浜母子寡婦福祉会に横浜市内在住の母子及び父子家庭の親子20組・40人を対象にチケットを贈呈し、去る10月8日に日産スタジアムで行われた横浜F・マリノス対ガンバ大阪戦に招待した。

当日は、秋晴れの天候にも恵まれマリノスが勝てば優勝が決まる大事な試合で、招待者全員が試合前に配られたマリノスのユニフォームを着て大きな声援を送っていた。試合は残念ながら逆転負けを喫

「サッカー大会」 12月3日、11日、25日 新横浜公園球技場等 参加人数・370名
「シニア委員会」
「シニアサッカー大会」 11月5日・6日 しんよこフットボールパーク等 参加人数・2000名

「シニア委員会」
「シニアサッカー大会」 11月5日・6日 しんよこフットボールパーク等 参加人数・2000名

【社会人委員会】

3位決定戦 横浜 4-1 緑ビクス
ウインズ 4-1 1ス

また、同時開催で創立90周年を記念してU12フットサル大会も行われた。

大会形式は、すずらん大会と同じく各予選ブロックの結果から順位を決定した。

【大会結果】
決勝戦 緑ビクス 1-1 緑ビクス
1スW 1-1 1スG

PK1-0
3位決定戦 横浜かもめ 5-2 SH
LUNA ガールズ

U11サッカー大会兼J.A全農杯関東大会神奈川県予選に出場。また、この大会は全国大会に通じる大会である。

【決勝戦】

バディー 1-0 横浜F・SC
マリノスPR

【三位決定戦】

あざみ野 1-0 CFG・YOFK
KOHAMA

結果、第一代表バディーSC、第二代表横浜F・マリノスPR、第三代表あざみ野FC、3チームは12月3日・4日に神奈川県内で行われる第20回

対象にチケットを贈呈し、去る10月8日に日産スタジアムで行われた横浜F・マリノス対ガンバ大阪戦に招待した。

当日は、秋晴れの天候にも恵まれマリノスが勝てば優勝が決まる大事な試合で、招待者全員が試合前に配られたマリノスのユニフォームを着て大きな声援を送っていた。試合は残念ながら逆転負けを喫

初戦から強敵のSCHとの対戦でした。緊張しましたが仲間と力を合わせて勝利する事ができました。決勝戦では予選で引き分けたマリノスとの対戦でした。この試合も自分達のサッカーで全力で戦い抜

【三位決定戦】

旭区選抜 4-0 瀬谷区選抜

【3年ぶりにビーチサッカー】

コロナウイルス感染予防のため中断していたビーチサッカー大会が3年ぶりに7月30日、31日の二日間にわたり金沢海の公園で開催された。

少年の部（参加チーム数16チーム）、小学女子の部（同9チーム）、一般男子の部（同3チーム）、一般女子の部（6チーム）の4部門で行われ、部門ごとの優勝チームを表彰し、賞状とトロフィー、記念品が贈られた。

緑区選抜が優勝 シーガルス杯 18区選抜少女サッカー大会

第6回横浜市区選抜少女サッカー大会（ニッパツ横浜FCシーガルス杯）は、6月26日、横浜FC東戸塚F.Pにて4チーム4ブロックで行われ、上位2チームが順位トーナメントに駒を進めた。

トーナメント1回戦はどの試合も白熱したゲームで4試合中2試合がPK戦、接戦を制したのは磯子区選抜、瀬谷区選抜、旭区選抜、緑区選抜。準決勝戦は1点を争う好ゲーム。1点を守り抜いた磯子区選抜、PK戦を制した緑区選

らは横浜市1「登録名称・横浜シニア60」と横浜市2「登録名称・横浜OB60雀」の2チームの参加である。横浜市1（横浜シニア60）は「千葉県・熊本県・札幌市」の各代表チームと、Aブロック。横浜市2（横浜OB60雀）は「山梨県・三重県・長崎県」の各チームとBブロックに属し、土ヶ谷公園サッカー場にて試合に臨んだ。13日に行われた試合は、Aブロックは4試合、Bブロックが2試合行われた。

横浜市1チームは一勝一分け横浜市2チームは1引き分けとまずまずの出だしでした。



緑区選抜 5-1-0 磯子区選抜

14日はAブロックの横浜市1チームは最終戦の熊本戦に勝てば1位が決まることのであったが、後半の攻勢もあと一歩及ばず1対1の引き分けとなり三チームが2勝1敗の勝ち点で並び、得失差により結果3位となる。また、Bブロックでは山梨が横浜市2チームとの競り合いに勝利し全勝で1位が確定し、横浜2チームは三重県と長崎県の試合結果次第では2位の可能性があったが、後半6分の得点を三重県が守りきり1対0で終了。その結果横浜市2チームも勝ち点差で3位となった。

コロナウイルス感染予防のため中断していたビーチサッカー大会が3年ぶりに7月30日、31日の二日間にわたり金沢海の公園で開催された。



少年の部（参加チーム数16チーム）

法人会 員 一 覧	
横浜マリノス(株)	(株) 横浜シミズ
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
横浜食品開発(株)	(株) 横浜アーチスト
	(有) フリースタイル